

校長室より③ ～「思い」と「感謝」～

富士宮西高等学校のホームページを御覧いただきまして、誠にありがとうございます。

帰りのホームルームを終えた生徒の声が、階段、廊下から聞こえてきます。

一日の授業を終えたあと。友人たちとリラックスできる「憩い」のひとつ。

笑い声あり、歌声あり。これもまた実にほほえましいものです…。

富士宮西高校の6月は3日間の「紫翠祭（しすいさい）」文化の部、体育の部から始まりました。

公開日には、多くの皆様にご来校いただき、誠にありがとうございました。

文化の部、体育の部、双方を生徒、ご家族の皆様、職員、関係者、皆で作り上げる「紫翠祭」。

感動あり、涙あり、笑いあり、そして発見あり…。

学校行事、そのたびごとに「友人の知らなかった一面」に出会うことができます。「良さ」の発見です。普段の授業では見たことのない姿も。

「すごいな!」「頑張っているな!」「いいね!」 仲間の姿に感動させられます。

実は私もまた一つ、君らの「良さ」を見つけてしまいました…。

野球部の招待試合。試合前の「始球式」。生徒代表の2名に続いて、私の番。格好よくストライク、とはいきませんでした。外角高め、キャッチャーがしっかりと受けてくれました。

すっかり気分を良くした私。当日の閉会式では「エア・キャッチボール」。全校生徒の皆さんに、その場で「エア」グラブをはめて、構えを決めてもらいます。

そして私が振りかぶる、思い切り腕を振る、投げる!

私が投げた「エア・ボール」を、君らはしっかりと「キャッチ」してくれた!!!

キラキラとした、まぶしいほどの「微笑み」とともに。

見ることのできない「ボール」ですが、「思い」は確実に「キャッチ」してもらえました。

その場での（瞬間的な）反応として、こちらの気分を思いやり、しっかりと対応できる柔らかさ、そして温かさこそ、富士宮西高生、君らの「すばらしさ」です。

体育の部、開会式では「二つの力」について紹介。

自分で引っ張り出す力、これが「一」だとすれば、周りの仲間によって引き出してもらう力＝「二」の力。これもまた、大きな「自分の力」です。

仲間への「応援」、君らの姿に注目してみました。あれほどの「大声援」を浴びながら、競技に挑む君らです。「目いっぱい」の更に先（奥？）から引き出された力ゆえ、自分でも信じられない力を発揮した人もいるでしょう。

目いっぱい、思い切り、全力を出し切る。更に周りの仲間が自分の「底力」を引き出してくれる。そうした仲間の存在が、実に素晴らしい。何よりも心強い。有難いですね。

『力には「二種類の力」あり。一は自らひねり出す力。一は周りに引き出してもらう力。』

誰に遠慮することなく、普通に、当たり前、気分よく、とことんチャレンジできる。

この「居心地」の良さ。

それが我々の「富士宮西高校」。先輩から代々受け継いできた「富士宮西高校」の伝統です。

最後に、企画から準備、当日の運営に片付けまで。生徒会本部を中心に、各クラス、部活動など、それぞれの立場で「紫翠祭」を見事に支えてくれた生徒諸君、PTA ほか関係の皆様、先生方へ、心から御礼をお伝えしたいと思います。

思い出深い、素晴らしい「紫翠祭」となりました。ありがとうございました。

校長 鈴木邦浩（令和7年6月上旬）